

連載

Turbo HAMLOGの 部屋

Turbo HAMLOG開発者

JGIMOU 浜田 博 Hiroshi Hamada

第4回

Turbo HAMLOG/Winの QSLカード印刷抑制機能

Turbo HAMLOG/Win (以下、HAMLOG と略します) の QSLカード印刷では、「JARL 非会員などの QSLカードが転送できない局あてには印刷しない」機能をバージョン 5.43 (2024/08/16) から実装しましたのでご紹介します。

QSLカード印刷抑制機能

図1は、HAMLOG の QSLカード印刷ウィンドウです。ここでは QSLカード印刷の定義ファイルや印刷する内容などを設定のうえ印刷するわけですが、図1の赤矢印で示した部分が今回追加した機能です。

図1 JARL.mDAT 最新版の確認

JARL.mDAT ファイルは、JARL 会員データであって、ビューローで QSLカードが転送できる局のリストです。

このボタンは、JARL.mDAT ファイルの更新を確認し、ダウンロードとインストールを行います。このボタンをクリックするだけで組み込むことができます。

JARL.mDAT は、JARL から提供されたリストを筆者が暗号化したファイルです。毎月末に更新する予定ですので、最新の JARL.mDAT ファイルをご利用ください。

初めてこの機能を使う場合は、必ずこのボタンをクリックし、JARL.mDAT ファイルをダウンロードしてください。

図1 JARL.mDAT 2024/08/07版を使う

ここにレ点を入れると、JARL.mDAT を使い、QSLカードの転送ができる局に対してのみ、印刷することができます。

コールサインは、QSLカードの JARL 転送枠に印字されるコールサインが対象です※1。

図1の QSL カード印刷ウィンドウ起動時は、常にここにレ点が入っています。レ点を外せばこれまでどおりの動作となり、JARL.mDAT を使用しません。

図1のように本稿執筆時は 2024/08/07 版が最新ですが、毎月末に更新する予定です。

QSLカードを印刷しなかった 交信の確認

QSLカード印刷後、この機能により印刷しなかった交信を No_JARL.TXT というファイル名で保存し、メモ帳などで表示します。

図2は、筆者が直近の 500 交信を QSLカード印刷

した結果です。

あらかじめ除外した交信はノーQSLだけで、すでに紙QSLや電子QSLを発行済みの交信も印刷対象とし、プリンターから用紙を抜いて確認してみました。

500交信の内訳は次のとおりです。

■ QSLカード印刷対象

466交信

■ ノーQSL

7交信 (印刷しない)

■ JARL 非会員など

27交信 (印刷しない)

QSLカード印刷抑制機能がなけ

れば、493枚のQSLカードを発行し、そのうち27枚のQSLカードがビューローで廃棄されていたことになります。

この割合は5.5%で、サンプリングとしては小さなデータですがJARLの資料と一致します※2。図2のQSLカード印刷抑制対象の交信では、ほとんどがFT8であることがわかります。

図2
QSL印刷対象外だったJARL非会員などQSLカードが転送できない局のリスト。QSLカード印刷後に表示される。図2の場合はWindows付属のメモ帳

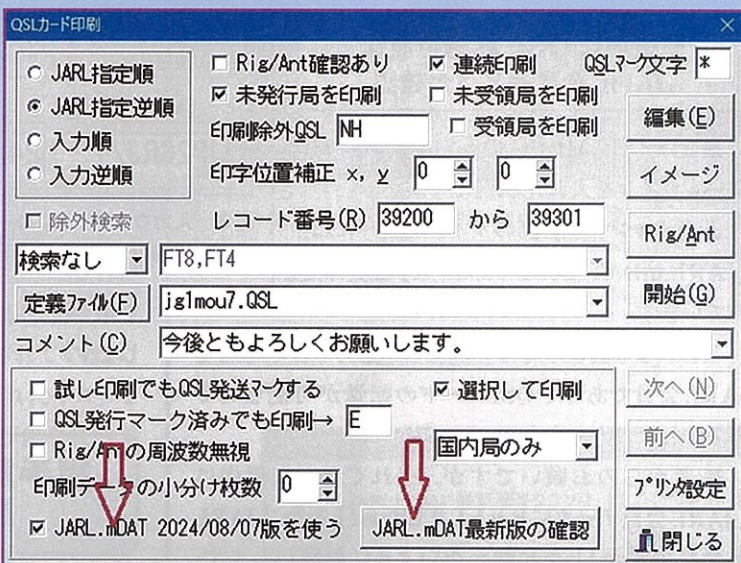


図1 HAMLOGのQSLカード印刷ウィンドウ。オプションメニューから起動する

No_JARL.txt									
ファイル 編集 表示									
※QSL印刷除外リスト (JARL非会員または会員局名録非掲載)									
39229	8J1	F/P	24/08/09	15:17J	7.042	FT8			
39292	8J1	YE	24/08/12	21:25J	430.511	FT8			
39196	JJ0		24/07/28	20:04J	438.680	FM			
39200	JA9		24/07/29	13:28J	7.041	FT8			
38991	JA9		24/06/29	15:10J	7.043	FT8			
38941	JA9		24/06/17	12:12J	7.043	FT8			
39037	JH8	/1	24/07/18	18:35J	7.041	FT8			
39199	JH8		24/07/29	13:27J	7.041	FT8			
39189	JG7		24/07/28	13:47J	7.042	FT8			
39227	JG6		24/08/08	20:49J	7.042	FT8			
39194	JJ5		24/07/28	13:58J	7.042	FT8			
38839	JR4		24/06/17	09:33J	7.066	SSB			
39296	JR3		24/08/17	14:38J	7.042	FT8			
39023	JR3		24/07/02	11:40J	7.041	FT8			
39263	JR3		24/08/10	13:34J	7.042	FT8			
39256	JO2		24/08/10	13:23J	7.042	FT8			
38979	JH2		24/06/26	20:04J	7.042	FT8			
39019	JO1		24/07/02	11:36J	7.041	FT8			
38824	JO1		24/06/16	10:35J	7.041	FT8			
39130	JN1		24/07/28	10:24J	144.220	SSB			
39041	JK1		24/07/18	20:31J	144.461	FT8			
39279	JJ1		24/08/10	15:21J	430.511	FT8			
39069	JJ1		24/07/21	15:42J	430.511	FT8			
38942	JH1		24/06/17	12:14J	7.043	FT8			
39175	JG1		24/07/28	12:52J	144.461	FT8			
39163	JG1		24/07/28	12:23J	144.461	FT8			
39072	JG1		24/07/21	16:00J	430.511	FT8			

※1 HAMLOGではQSL欄の1文字目にMと入力し、Remarks1・2のどちらかに@JG1MOUのようにQSLマネージャーのコールサインを入力しておけば、そのコールサインをQSLカードのJARL転送枠に印字します。このコールサインがQSL転送可能な会員でない場合は印刷しません。

※2 JARLホームページのトピックス【QSLカード「発行枚数見直し」にご協力ありがとうございます】を参照。2015年～2023年のQSLカード処理状況が記載されています。

交信中に QSL 転送可能な JARL 会員かどうか確認

図3は、HAMLOG の入力ウィンドウに
コールサインを入れた状況です。

入力ウィンドウ上部のタイトルバーには、
【JARL.mDAT 2024/08/07 版】と表示さ
れています。

これにより図3の局は、2024年8月7日の時点で
JARL 会員であって QSLカードの転送が可能な局で
あることがわかります。

筆者からのお願いですが、くれぐれも交信中に
【JARL 会員データにヒットしましたあ!】とか、【JARL
非会員ですね!】など言わないようにお願いします、
hi hi.

QSLカード印刷抑制機能の 注意点 その1

JARL.mDAT の内容は、JARL 会員であって
QSL カードが転送できるコールサインだけのリストで
す。しかし、QSL カードが転送できる会員であっても
JARL 会員局名録に掲載を希望していないコールサ
インは、JARL.mDAT には含まれていません。

したがって、このような場合 QSL カードが転送で
きない局=印刷しないという扱いになってしまいます
ので注意が必要です。

この場合、[JARL.mDAT 202x/xx/07 版を使う]
のレ点はずして、その局だけ1枚を別に印刷する、
という対応をお願いします。

QSLカード印刷抑制機能の 注意点 その2

交信相手局が JARL に入会したばかりの場合、本
機能により印刷しないことが考えられます。

この場合、翌月以降に新しい JARL.mDAT を使
えば印刷対象となります。

そのため、図1のQSLカード印刷ウィンドウでは「未
発行局を印刷」にレ点を入れ、レコード番号の範囲

LOG-[A] IC-7300 JP2GRJ/1 【JARL.mDAT 2024/08/07版】						
49回目のQSOです (QSL:45枚受領)						
Call	☐ DX	Date	Time	His	My	
JP2GRJ/1		24/08/27	19:40J	59	59	7.0

図3 入力ウィンドウにコールサインを入れた状況。タイトルバーの表示で
JARL 会員データにヒットしていることが分かる

を広く指定して(さかのぼって)印刷するようお願い
します。

相手局がJARLに入会して 間もない場合の例

- A局と2024年9月末に交信したところ、A局は
2024年9月10日にJARLに入会済みだそうです。
- 9月末にダウンロードしたJARL.mDAT 2024/09/07
版にはA局は含まれていないので、10月になっ
てもQSLカード印刷対象ではありません。
- A局は、JARL.mDAT 2024/10/07版に含まれる
こととなりますが、JARL.mDAT 2024/10/07版
がダウンロードできるのは2024年10月末頃です。
- A局にはQSL未発行の状態ですので、JARL.
mDAT 2024/10/07版をダウンロードし、印刷レ
コード番号の範囲は広く指定して(さかのぼって)
印刷すればOKということになります。
- 若しくは、[JARL.mDAT 2024/09/07版を使う]
のレ点はずしてA局だけ1枚を別に印刷する、と
いう方法もあります。

QSLカード印刷抑制機能 作成の経緯

JARLのQSLビューローに届くQSLカードのうち、
非会員あてが5~8%だそうです。これは年間50~
60万枚になります*2。

QSLビューローでは、これを一定期間保管し、再
度チェックしてなおも非会員であれば廃棄となるそう
です。

つまり、QSLビューローでは、非会員あてのQSL
カードを年間100万枚以上チェックしていることにな

ります。

これを減らせばビューローの負担が少し減り、本来の転送業務の効率がアップすると思われます。また、HAMLOG ユーザーにとっては、用紙とインクの無駄が減るわけです。

筆者は、JARL の QSL 問題対策委員会の委員であり、同委員会の提案により令和 6 年 5 月 25 日開催の第 72 回理事会で審議した結果「QSL が転送できる局のリストを提供する件」は承認されています。

JARL.mDAT は、JARL から提供されたリストを暗号化したファイルです。データの復号化や目的外利用はお断りします。

QSLカード印刷抑制機能の仕様

本稿執筆時点での仕様について、箇条書きします。

- JARL.mDAT ファイル (QSL が転送できる JARL 会員局のリスト) の内容は、コールサインのみを暗号化したものです。
- JARL 会費納入の締切日が毎月 7 日だそうですので当該月の 7 日版とし、その月末に JARL.mDAT を更新する予定です。
- JARL.mDAT は、筆者契約のレンタルサーバーに置きますので、図 1 の QSL 印刷画面からダウンロードして組み込みます。[JARL.mDAT 最新版の確認] ボタンをクリックするだけの操作です。
- JARL.mDAT は、HAMLOG 本体と同じフォルダにインストールされます。別のフォルダでは使えません。
- QSL カードの JARL 転送枠に印字されるコールサインを JARL.mDAT から検索し、該当がなかった局あてには単に QSL を印刷しない (何もしない) 仕様です。
- QSL マネージャーのコールサインを QSL 転送枠に印字する場合、QSL マネージャーが JARL.mDAT に含まれないときは印刷しません。
- DX 局には適用しません (QSL を印刷します)
- 図 2 のように、QSL カード印刷後、この機能により印刷しなかった交信リストをテキストファイルで表示します。

- 図 4 のように、JARL.mDAT が前々月のものであるときは、QSL カード印刷時に更新を促すメッセージが表示されます。

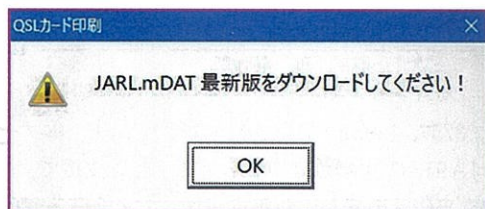
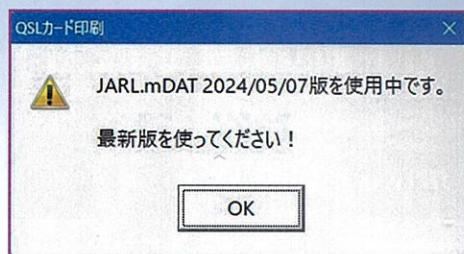


図 4 JARL.mDAT が前々月のものである場合の警告

- JARL.mDAT には、QSL カードが転送できる会員であっても会員局名録に掲載を希望していないコールサインは含まれません。これは JARL 側のシステム仕様のため、筆者に対応はできません。
- JARL の会費切れ 2 ヶ月未満の方のコールサインは JARL.mDAT に含まれます。これも JARL 側のシステム仕様です。
- 図 3 のように、HAMLOG でコールサインを入力したときに JARL.mDAT から検索し、入力ウィンドウのタイトルバーにその旨を表示します。
- ファイル拡張子を .mDAT とした理由は .DAT や .DATA では他のアプリに関連付けされており、アクロバットリーダーなどが起動してしまうためです。

結びに

QSL カードが届くまでに 1 年近く要しているようでしたが、徐々に回復しつつあるようです^{※3}。今回の機能の追加が QSL カード転送の効率アップに寄与するとともに、HAMLOG ユーザーにとって用紙やインクの無駄防止になれば幸いです。 (CQ)

※3 筆者は、電子 QSL で QSL カード交換が成立していれば、特に約束した場合を除き、紙 QSL は発行しないこととしています。